

# 事務事業評価票

番号	枝番号	事務事業名	部名	課名	所属長名	
		資料館特別展事業	教育委員会	生活文化総合センター	岸本一郎	
基本事項	基本政策	03	こころ豊かな人が育ち、いきいきと活躍できるまち(教育・文化・スポーツ)	会計	01	一般会計
	政策	03	多彩な文化と生涯スポーツ活動の振興	款	10	教育費
	施策	03	文化財の保存と活用	項	05	社会教育費
				目	08	生活文化総合センター費
<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度		事業開始年度	昭和59 年度	完了予定年度	未定 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時
事業の対象(誰に対して・何に対して)			事業の目的(どういう状態にしたいのか)			
郷土史や郷土の文化財について、より詳しい情報や資料を得たい人。			郷土の歴史や文化財に関心をもち、文化財や郷土を大切にすることを育てる。			
事業の内容(目的達成のための手段・方法)						
郷土資料館に寄贈・寄託されている豊富な歴史・文化財資料を活用して年間2回の特別展を行う。1回は郷土に関係した調査・研究成果の発表や関心を引くようなタイトルを設けて開催する。もう1回は当館の誇る民具資料と小学校社会科単元をタイアップさせて「むかしの道具展」を開催している。平成22年度末での特別展開催回数は72回を数える。市広報・新聞紙上・ホームページ・チラシ・ポスター・ダイレクトメールなどで県下を中心にPRを行っている。						
事務事業の概要	補助・単独 <input type="checkbox"/> 国・県の補助金有! <input checked="" type="checkbox"/> 市単独					
	<input type="checkbox"/> 義務実施事業	根拠法令要綱等				
	<input type="checkbox"/> 努力義務実施事業	根拠法令要綱等				
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意実施事業	根拠条例等 播磨内陸生活文化総合センター条例				
	<input type="checkbox"/> 単費上乗せ有り(又はの場合)	根拠条例等				
正規職員が関与すべき法的義務性			<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(該当業務: )			
法令名・根拠条文						
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担金 <input type="checkbox"/> その他( )					
	委託の場合 <input type="checkbox"/> 入札 <input type="checkbox"/> 随意契約(契約先: )					

## 総合計画・行動計画 施策シート

			優先度	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C
展開方針(年度別事業内容)	平成23年度(参考)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	以降	
総事業費	千円	千円	千円	千円	千円	千円
今後の方向性			今後の方向性の具体的内容			
<input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 縮小・廃止						
進捗状況		進捗状況の具体的内容・未着手の理由		市長指示事項等		
<input type="checkbox"/> 計画どおり(以上)進行 <input type="checkbox"/> 計画よりも遅延 <input type="checkbox"/> 未着手						
企画政策課意見				行動計画掲載(企画政策課)		
				<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C		

		単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
事務事業データ	事業費(予算額または見込額)(A)	千円	515	437	437	437	437
	特定財源		12	12	12	12	12
	一般財源		503	425	425	425	425
	事業費(決算額)(A)		233				
	特定財源		11				
	一般財源		222				
	一般職員所要人員(B)	人	0.10				
	一般人件費[平均給与×(B)](C)	千円	779				
	嘱託・臨時職員所要人員(D)	人	0.30				
	嘱託・臨時人件費[平均賃金×(D)](E)	千円	709				
総コスト[(A)+(C)+(E)](F)	千円	1,721					
受益者負担額(G)	千円						
受益者負担率[(G)/(F)](H)	%	0.0%					
活動指標	名称	特別展開催回数	目標値 2回	2回	2回	2回	2回
	説明		実績値 2回				
(目標)	名称	特別展開催日数	目標値 126日	126日	126日	126日	126日
	説明		実績値 126日				
成果指標	名称	特別展入館者数	目標値 3,600人	3,650人	3,700人	3,750人	3,800人
	説明		実績値 3,694人				
(目標)	名称		目標値				
	説明		実績値				

評価実施：平成23年度

1次評価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性) : 3	事業の必要性 : 1	実施主体の妥当性 : 3
		直接のサービスの相手方 : 1	受益者負担の適切さ : 4	市民ニーズの把握 : 3
	総合評価	評価結果 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止	判断理由 改善策	予算を伴う特別展を年間1回とし、予算も減額した。また、特別展は、それなりの集客が期待できるため、予算を伴わない特別展も実施している。改善してから、2年目であるが、それほどの見学者の落ち込みは見られず、22年度は見学者が増えている。 当面、現在の方法で、特別展を実施する。

2次評価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性) : 3	事業の必要性 : 2	実施主体の妥当性 : 3
		直接のサービスの相手方 : 1	受益者負担の適切さ : 3	市民ニーズの把握 : 3
	総合評価	評価結果 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止	判断理由 改善策	予算を伴う特別展を年間1回にするなど、改善点が見られる。 特別展においては、学校指導要領により、西脇・多可の全小学校をはじめ、他市の小学校からの見学者が多い。今後は、西脇市内の一般見学者を増やす取組も進められたい。例えば、市外観光者の「来住亭」見学の流れからお客様を呼び込むために、資料館迄の散策コースとしてのPRや市民ニーズ把握のアンケート調査、西脇市の郷土の歴史に特化した展示などが考えられる。また、認知・記憶障害者の回想療法の場として福祉施設へPRも考えられる。

3次評価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性) :	事業の必要性 :	実施主体の妥当性 :
		直接のサービスの相手方 :	受益者負担の適切さ :	市民ニーズの把握 :
	総合評価	評価結果 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止	判断理由 改善策	